

一般国道175号

整備促進に関する要望書



令和3年11月

一般国道175号整備促進期成同盟会

要 望 書

平素は、一般国道175号の整備促進に、格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本路線は、兵庫県明石市から京都府舞鶴市に至る主要幹線道路で、瀬戸内地域と日本海地域を結ぶとともに、第二神明道路、神戸西バイパス、山陽自動車道、中国自動車道、北近畿豊岡自動車道の高規格道路5路線を相互に連絡し、産業振興や物流の効率化、救急医療施設等へのアクセス強化に欠かすことのできない重要な役割を担っています。また、令和元年に明石市から丹波市に至る供用中区間が重要物流道路に指定されました。

近年、全国各地で想定をはるかに超える甚大な災害が頻発していますが、平成30年7月豪雨では、山陽自動車道、中国自動車道をはじめ、周辺のほとんどの高規格道路が通行止めとなる中で、一般国道175号は高規格道路ネットワークを補完する広域迂回路として機能し、大変重要な役割を果たしました。

現在、神出バイパス及び西脇北バイパスの整備を着実に進めていただいております。令和2年3月には西脇北バイパスが部分開通し、さらに本年4月には西脇北バイパスの全線開通予定時期が公表されるなど、地元では、早期開通への期待がますます高まっています。

しかしながら、中国自動車道や北近畿豊岡自動車道等と一体となって国土幹線道路ネットワークを形成し、兵庫県の基幹道路八連携軸にも位置づけられている高規格道路「東播丹波連絡道路」のうち、西脇北バイパス以北（西脇市黒田庄町から丹波市氷上地域間）は、未だルートさえ決定されていません。

本路線は、地域住民の生活や経済・社会活動を支え、加えて大規模災害時における緊急輸送道路としても、沿線住民の命をつなぐ最も重要なインフラであり、その整備は地域間の人・物・文化の交流を促進し、地域の活性化に大きく寄与するものとして期待を寄せており、全区間の早期開通を待ち望んでおります。

御当局におかれましては、当地の実情を御賢察いただきまして、下記要望項目について格別の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

要 望 項 目

1 新型コロナ収束後の物流・観光等を支える道路整備予算の確保

新型コロナ収束後の物流・観光等経済活動の回復と多極分散型の国土構造への転換を図るための公共事業、とりわけ道路関係予算の総額を安定的かつ持続的に確保すること。

特に、コロナ禍により大きな打撃を受けた地域経済を早急に回復させるためには、総需要の増強が重要であり、補正予算の編成など公共投資の規模を拡大すること。

2 防災・減災、国土強靱化に必要な予算・財源の確保

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策を着実かつ計画的に推進するため、必要な予算・財源を確保すること。

3 ミッシングリンクの解消

高規格道路ネットワークのミッシングリンクを解消するとともに、地域の実情を踏まえた重要物流道路の更なる指定と該当道路の重点整備・機能強化を図ること。

4 重要物流道路の機能を担う一般国道175号の整備促進

(1) 事業中区間の早期開通

ア 西脇北バイパス（西脇市）：早期全線開通に向けた整備促進

イ 神出バイパス（神戸市西区）：早期全線開通に向けた整備促進

(2) 調査中区間の早期事業化

高規格道路「東播丹波連絡道路」の西脇市黒田庄町から丹波市氷上地域間の早期事業化に向けた速やかな「計画段階評価手続き着手」及び「ルート決定」

(3) 東播丹波連絡道路の事業中区間及び調査中区間の重要物流道路指定

5 地方の道路の整備推進及び機能強化

地方の道路については、渋滞対策、交通安全対策、無電柱化、自転車通行空間の確保、予防保全を含む老朽化対策等、地域の課題を解決する事業を推進すること。あわせて、災害などに対応する地方整備局等の体制の充実・強化を図ること。

令和3年11月10日

一般国道175号整備促進期成同盟会
会長 西脇市長 片山 象三

一般国道 175 号整備促進期成同盟会会員名簿

(会 員)

市 町 名	職 名	氏 名	役 職
神 戸 市	市 長	久 元 喜 造	理 事
	議 長	坊 恭 寿	理 事
西 脇 市	市 長	片 山 象 三	会 長
	議 長	村 井 公 平	理 事
三 木 市	市 長	仲 田 一 彦	理 事
	議 長	大 西 秀 樹	監 事
小 野 市	市 長	蓬 萊 務	理 事
	議 長	川 名 善 三	理 事
丹 波 市	市 長	林 時 彦	副 会 長
	議 長	藤 原 悟	理 事
加 東 市	市 長	安 田 正 義	理 事
	議 長	小 川 忠 市	監 事